

# 平成29年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

## 第1 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

### 1. 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、併せて印旛沼周辺地域の環境保全に資することを目的とする。

### 2. 沿革

昭和59年11月20日、佐倉市宮小路町12番地に財団法人 印旛沼環境基金として、旧民法第34条の規定に基づき千葉県知事の設立許可を受けて発足したが、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)の施行に伴い、千葉県知事に公益財団法人への移行を申請し、平成26年3月19日の認定を経て平成26年4月1日に公益財団法人 印旛沼環境基金に移行した。

## 第2 事業の実施状況

### 1. 事業の概要

平成29年度の事業は、平成29年2月6日開催の第2回通常理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

### 2. 事業の内容

#### (1) 印旛沼及び流域における調査研究

##### ① 水質調査等結果の取りまとめ

平成28年度に千葉県が実施した公共用水域、及び印旛沼流域の13市町がそれぞれ独自に実施した流域の河川・排水路等の水質調査結果等を広く収集し、取りまとめを行った。

取りまとめ結果については、平成30年度に取りまとめる平成29年度と同調査結果と合わせて、平成30年発行予定の「平成29・30年版いんば沼白書」に掲載する。

##### ② 外来生物等に関する調査研究

印旛沼及び周辺の生態系への影響が危惧される「特定外来生物」に指定されている水生植物のナガエツルノゲイトウとオオフサモ及び分布面積を拡大している在来種のオニビシの調査を実施した。この調査は、27年度まで市民団体への助成事業として実施していたが、平成28年度からは、環境基金の事業として市民団体の協力を得て実施している。

調査結果は県、流域13市町及び関係機関に配布し、印旛沼の水質浄化対策等の活用に供している。

##### ③ 各種関連資料の収集と取りまとめ

###### ア) 水質等に関連する情報収集

県及び流域市町が平成28年度に行った水環境関連の行事、啓発活動などに関する情報を

広く収集し、取りまとめた。

調査結果については、平成30年度に取りまとめる平成29年度の同調査結果と合わせて、平成30年発行予定の「平成29・30年版いんば沼白書」に掲載する。

イ) 水質浄化、環境保全関連の資料収集と書籍購入

- ・水資源開発施設等管理年報第48号（独立行政法人水資源機構）
- ・各市の環境白書(平成29年版)など

## (2) 講習・学習会及び観察会

### ① 講習・学習会等の講師派遣

流域内の市町、学校等の関係機関からの要請を受け、下表に示す学習会や、講演会等に講師を派遣した。

開催日	場所	テーマ	主催(対象)
H29. 7. 21(金)	印旛沼	印旛沼の観察	成田市 (なりた環境ネットワーク)
H29. 8. 2(水)	印旛沼	印旛沼の観察	印旛沼流域水循環健全化会議 (印旛地区小中学校教員)
H29. 8. 5(土)	印旛教育会館	印旛沼の歴史と環境	匝瑳地区教員研修会 (匝瑳地区小中学校教員)
H29. 8. 17(木)	印旛沼	印旛沼の観察	千葉県 (県環境行政担当職員)
H29. 10. 18(水)	佐倉市立臼井小学校理科室	印旛沼に関する環境教育 (水の汚れを調べてみよう)	佐倉市立臼井小学校 (4年生及び教師)
H29. 11. 18(土)	印西市ふれあいセンターいんば	印旛沼の歴史	印西市立印旛歴史民俗資料館

### ② 観光船による印旛沼観察会(共催:印旛沼水質保全協議会)

印旛沼流域住民の沼への関心を高めるため、沼の水質の現況と沼周辺の自然環境の観察を目的として、平成29年7月27日(木)に開催した。参加者は130名(うち子ども23名、関係者を含む)。

### ③ 親子で学ぼう印旛沼

流域の市町のそれぞれに在住する親子を対象に、沼への関心を高めるため、観光船を活用し沼の水質の現況と沼周辺の自然環境の観察、及び簡易な水質検査の解説と実習を行った。

ア) 佐倉市と共催

平成29年5月20日(土)に実施し、参加者は17家族59名(うち子ども30名)

イ) 酒々井町と共催

平成29年8月10日(木)に実施し、参加者は10家族27名(うち子ども15名)

ウ) 印西市と共催

平成29年8月22日(火)に実施し、参加者は8家族28名(うち子ども17名)

#### ④ 印旛沼公開講座(共催:佐倉市)

テーマをそれぞれ異にして5回の講座を開催した。

- ・開催場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール
- ・対 象：印旛沼流域内外の住民

回	開催日	テーマ	講師(所属)	聴講者数
第1回	H29. 8. 5 (土)	「印旛沼流域水循環健全化第2期行動計画」及び「第7期印旛沼に係る湖沼水質保全計画」の概要	鈴木 宏 昌 (千葉県県土整備部河川環境課) 長谷川 理 (千葉県環境生活部水質保全課)	25名
第2回	H29. 9. 2 (土)	いんば沼の歴史(その1) —利根川東遷事業・江戸期の掘割工事から明治・昭和の利根川改修工事—	本 橋 敬之助 (公益財団法人印旛沼環境基金)	83名
第3回	H29. 10. 7 (土)	いんば沼の歴史(その2) —大正期の安食水門建設から昭和期の印旛沼開発(干拓)事業—	本 橋 敬之助 (公益財団法人印旛沼環境基金)	62名
第4回	H29. 11. 4 (土)	いんば沼の水環境の変遷	本 橋 敬之助 (公益財団法人印旛沼環境基金)	49名
第5回	H29. 12. 2 (土)	いんば沼の生きものたちの変遷	本 橋 敬之助 (公益財団法人印旛沼環境基金)	58名

(所属：平成30年3月31日現在)

### (3) 啓発・宣伝

#### ① ホームページの公開

インターネットを利用して印旛沼環境基金の活動や計画・予定の行事、さらには印旛沼及び流域の環境保全等に係わる最新の情報を広く流域の住民に伝えるとともに、他団体との情報交換や交流を目的に、ホームページの情報を随時更新し公開した。

#### ② 「水辺の風景画コンクール」(第20回)の開催

印旛沼流域内の小・中学校の児童及び生徒に水環境への関心を抱かせるため、印旛沼及び流域の河川等、また他地域で見たり、触れたりした水辺を描いた「水辺の風景画」を募集・審査し、選考した作品を佐倉市立美術館で展示した。さらに入賞作品のうち、佳作10点を除く最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞の計16点については表彰するとともに、流域市町を巡回・展示した。

なお、佐倉市立美術館における展示期間中(5日間)の来館者は、延べ1,185名であった。

- ・応募学校数： 127校 (小学校： 108校、中学校： 19校)
- ・応募作品数： 1,649点 (小学校： 1,432点、中学校： 217点)
- ・展示作品数： 458点 (小学校： 397点、中学校： 61点)
- ・表 彰：最優秀賞 1点：井 上 世 一 (印西市立木刈小学校6年生)
- 優 秀 賞 2点：向 山 連 (千葉市立幕張中学校3年生)
- 藤 掛 孝 信 (佐倉市立臼井小学校2年生)
- 市町長賞 13点

- ・表 彰 式：平成30年1月21日（日）「佐倉市立美術館・4階ホール」
- ・展 示 会 場：佐倉市立美術館3階展示室
- ・展 示 期 間：平成30年1月17日（水）～ 21日（日）
- ・巡 回 展 示：流域13市町（展示期間：各市町5日間程度）  
平成29年11月13日（月）～ 平成30年3月2日（金）

### ③ 刊行物等の展示・配布

印旛沼流域住民が印旛沼の現状と重要性の理解をより深められるよう、当基金が直接係わる公開講座・助成事業成果報告会や県・市町が開催する各種行事等において、当基金編集・発行の各種刊行物等を無料配布、または有償頒布した。

さらに、特定外来生物問題に対する関心を高めるため、平成27年度に作成した印旛沼で捕獲されたカミツキガメの剥製を、各種行事で展示したほか、市民団体及び関係機関に貸し出し、各機関が主催又は参加する行事で展示した。

### ④ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形 式	発行部数	備 考
H29. 5. 31	雑誌「いんば沼」（第38号）	A 4 判 8 頁	4, 000	委託印刷
H29. 7. 24	「公益財団法人印旛沼環境基金」 （基金事業及び印旛沼の概要紹介パンフレット）	A 4 判 8 頁	10, 000	委託印刷

## (4) 環境保全団体等への助成

印旛沼及び流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学及びNPO法人を含む一般市民団体等を対象に、その活動を支援するため助成金を交付し、その成果についての報告会を開催した。

### ① 助成対象の団体

小学校4校、高等学校1校、NPO法人を含む一般市民団体4団体の計9団体

### ② 助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各学校及び団体の諸活動の成果を発表するとともに、各団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

#### ア) 開催

- ・日時：平成30年1月26日（金）9時15分～14時5分
- ・場所：印旛合同庁舎2階大会議室

#### イ) 講 師：

- 山 下 博 樹（千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事）
- 古 嶋 美 文（印旛沼流域水循環健全化会議・学びWG座長）
- 高 山 順 子（千葉県立中央博物館庶務部企画調整課・主任上席研究員）
- 本 橋 敬之助（公益財団法人印旛沼環境基金 上席研究員）

但し、所属及び職名は平成30年1月26日現在

ウ) 参加者：59名（講師、関係者を除く）

エ) 報告の課題名と団体

題 名	団 体
1 わたしたちの印旛沼 ～今・昔・未来～	佐倉市立臼井小学校
2 印旛沼 新発見！	佐倉市立染井野小学校
3 印旛沼のふるさと 船穂の里山	印西市立船穂小学校
4 富里市の自然を守る ～ホテル・高崎川・人参～	富里市少年少女の翼実行委員会
5 二重川ガイドブック作成と鯉のぼり復活	二重川に親しむ会
6 印旛沼における植生調査 ～ナガエツルノゲイトウ・オニビシ・オオフサモ～	佐倉印旛沼ネットワークの会
7 印旛沼流域「新川」の水質調査	千葉英和高等学校生物研究部
8 里山の保全と里山における自然観察等	里山の会ECOMO
9 印旛沼流域の湧水の水質調査及び水環境保全に関する啓発活動 その2	NPO法人水環境研究所